

特別会計決算額

国民健康保険	歳入	35億3600万円
	歳出	36億4000万円
老人保健	歳入	6100万円
	歳出	6000万円
後期高齢者医療	歳入	2億8700万円
	歳出	2億8200万円
下水道事業	歳入	8億1300万円
	歳出	8億円
農業集落排水事業	歳入	2億8500万円
	歳出	2億8200万円

水道事業会計決算額

収益的収支	収入	8億6200万円
	支出	7億7500万円
資本的収支	収入	3億6100万円
	支出	7億6300万円

※金額の単位は100万円（未満切捨）



ずっと元気に過ごしたい（高齢者スポーツ大会）

平成21年度特別会計・事業会計の決算額と審議内容

すべて認定しました

国民健康保険特別会計
1億400万円の
赤字決算

決算の概要 医療費は増えていませぬが、高額医療費共同事業の負担増や税収の減などが原因で、2年連続の赤字決算になりました。過去7年間の平均では、毎年2億円以上の実質的な赤字のため、一般会計からの繰入金で穴埋めされてきました。21年度は2億円が繰り入れられたにもかかわらず、1億400万円が不足となりました。

老人保健特別会計
精算2年目として月
遅れ分のみの支払い

決算の概要 制度廃止に伴う精算期間の2年目として、月遅れ分のみの支払いが行われました。このため事業規模は大幅に縮小しました。

後期高齢者医療特別会計
新たな制度の改正が
なされました

決算の概要 制度発足から2年目となった中、平成21年度は新たに保険料について均等割の8:5割軽減帯の一部が9割軽減に拡大されました。また支払い方法では、年金天引きと口座振替の完全選択制が導入されるなどの改正がなされました。

下水道事業特別会計
男衾駅東地区面整備
に向け、設計に着手

決算の概要 男衾駅東地区の整備に向けた土地所有者への説明会で、理解と協力が得られたことを受け、22年度を初年度とする寄居第2処理分区男衾駅東地区約12ヘクタールの面整備工事に向けて実施設計業務に着手。整備区域の拡大を図るため、処理池の増設等に関する建設負担金3828万4000円を支出しました。維持管理については、桜沢地区の管渠清掃、常木公会堂西の雨水幹線深掘（土砂を掘り取る）の工事をしました。

農業集落排水事業特別会計
水洗化率向上。
実質収支も黒字

決算の概要 平成21年度は未接続世帯を訪問し、今市地区・用土中央地区ともに水洗化率の向上、使用料の増収が図られました。折原地区については、管路施設整備工事を行ったほか、処理施設工事・全体実施設計業務を実施し、24年度の供用開始に向けた施設整備を進めています。歳入歳出決算状況は、実質収支額が246万5000円となっています。

水道事業会計
ホンダ関連水道管の
布設を実施

決算の概要 公共工事の影響に伴う配水管布設事業、ホンダ寄居新工場関連専用水道管布設工事を行いました。昨年引き続き高金利企業債の繰上償還及び低利の借換債（1億4840万円）を発行し、経営の健全化を図りました。また、災害等の断水時に迅速な給水活動が可能となる給水車を、国の臨時交付金を使って購入しました。当年度純利益は7791万7336円です。

水道事業会計

賛成 今後も効率的な企業運営を！
反対 料金の引き下げを！

稲山良文議員

田母神節子議員

水道事業決算は、昨年度に引き続き経営健全化を図り適切に事業展開された内容である。収益的収支では、効率的な企業運営の努力がうかがえる。資本的収支では、ホンダ寄居新工場の稼働に向けた事業等が計画的に進められた。執行においては安心・安全な水道水の供給に努めていただくとともに、料金引き上げの検討を要望する。

公営企業会計としての水道事業会計は、独立採算制である。平成13年に見直し（値上げ）を行った後は、毎年黒字決算であり、今年度も7,991万円余の黒字である。安心して毎日使用できるように値下げすべきと考える。

後期高齢者医療 特別会計

賛成 新たな高齢者医療制度を創設！
反対 制度の早期廃止が必要

本間登志子議員

田母神節子議員

後期高齢者医療制度は、高齢者はもとより、国民皆保険を将来にわたって安定持続するために、一昨年4月より始められた。国は平成25年度に、新たな高齢者医療制度を創設すべく進めている。執行においては動向を注視し、74歳までの障害者1万人が移行しなかったことである。75歳以上の医療費無料化と制度の廃止を要望する。

75歳以上の人をひとくりにしたこの制度は、県広域連合が執り行っている。この間、剰余金47億円、医療給付積立金42億円が出たため、1人2230円の値下げとなった。この要因は、①保険料の過大見積 ②医療費の伸び悩み ③65歳からの確実な対応に努めていただくとともに、それまでの間の健全な運営にさらなる努力を要望する。

下水道事業 特別会計

賛成 男衾駅東地区の面整備に着手！

稲山良文議員

22年度を初年度とする寄居第2処理分区男衾駅東地区約12ヘクタールの面整備に向けて、実施設計業務に着手した。施設の維持管理についても管渠、マンホール、雨水幹線の清掃等、生活環境の改善を行っている。21年度実質収支額は、899万6000円となったが、今後とも経済的かつ効率的な事業の展開を図ることを要望する。

国民健康保険 特別会計

賛成 国・県に対して制度改善の要望を！
反対 税金を上げるためにも、保険料の値下げが必要

石井康二議員

田母神節子議員

過去7年間の平均で実質2億円以上の赤字であり、また全国的に厳しい財政状況である。今後も国・県に対して財政面でも制度改善を強く要望していただきたい。また、町民の健康保持及び医療費増を、中・長期的に抑制するための特定健診・特定保健指導の受診率や実施率の向上に、今後も積極的な取り組みと執行のさらなる努力を要望する。

生活が苦しい今こそ、保険証の発行をすべての人に行うこと。年間所得300万円・夫婦と子ども2人の家族で、31万円の保険料はとて大変である。納めやすくするには保険料の値下げが必要である。制度の見直しが言われているが、市町村で1人3万円以上の持ち出しをしている市もあるが、当町では1万5000円程度である。

反対・賛成、それぞれの考えが討論で示されました